

じょうぜんじ
定禅寺通シンボルロード整備事業

受賞機関 仙台市

はじめに

「杜の都」仙台は、人口百余万を数え社会・経済における東北の中核都市であるとともに、国際化や芸術・文化の拠点として新しい活力と魅力を備えた都市を目指している。定禅寺通は仙台市の中心部に位置し、「杜の都」仙台を象徴するケヤキ並木の大通で、市民に潤いと安らぎを与える貴重な空間として親しまれている。折しも、本市では、「百年の杜構想」を策定し、その推進に取り組んでいるところである。その一環として定禅寺通を「緑の文化回廊」として整備し、街の賑わいを生む人とのコミュニケーションや活気、芸術とのふれあい、緑とのふれあいをテーマに未来に向けた新しい文化づくりを目指すこととし、その計画は住民参加により策定した。

事業の特徴

○定禅寺通に面する街並みの特性を生かすため、テーマを設けた二つのゾーンを配置した。

・「交流ゾーン」

出会いのスポット：待ち合せ可能なウッドデッキの設置

音のスポット：小規模コンサートが可能なミニステージの設置

・「創造ゾーン」

アートのスポット：メディアテークとの連帯感ある広場の設置

杜のスポット：緑地空間で散策が楽しめる噴水の設置

○彫刻のあるまちづくり事業として、街の緑の空間に彫刻を現地オーダーメイド方式にて配置し芸術豊かで文化が薫るまちづくりを創出している。

今後の活用方策

新しく生まれ変わった定禅寺通が、「杜の都」仙台のシンボルとして多くの市民に親しまれるよう、市



夜の交流ゾーン

民も含めた各種検討会を設け、その利活用策について検討を行っている。現在“オープンカフェ”など試行的に行っている。

おわりに

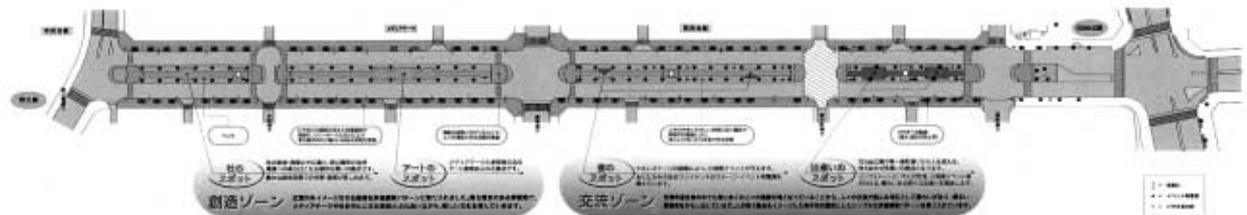
この定禅寺通は、これまでも、春には青葉祭り、夏は仙台七夕まつり、

秋は定禅寺通ストリートジャズフェスティバル、冬には光のページェントなどが行われ、市民の皆様にご喜ばれ浸透してきたところである。今回の「定禅寺通シンボルロード」が新たに加わり、ショッピングや芸術文化を楽しみながら人が集い、語り、豊かな緑と美しい街並みのなかで快適に散策できるガーデンプロムナードとして機能し、仙台のさらなる魅力に繋がることを期待したい。



仙台光のページェント

受賞賛助会員 セントラルコンサルタント(株)東北支社、大成ロテック(株)宮城事業所、日本道路(株)宮城営業所、前田道路(株)東北支店



定禅寺通平面図